



# APAY eNews

翻訳:永岡美咲(日本Y M C A同盟)

## Y M C Aユース・カンファレンス 2012 2012年7月17日~22日

3月号でお知らせしましたように、2012年7月17日~22日、シンガポール国立大学・Uタウンにて「STEP-UP: Encourage, Educate, Engage(ステップ・アップ:鼓舞する、教育する、関与する)」をテーマに、Y M C Aユース・カンファレンスが開催されます。

このカンファレンスは、アジア・太平洋Y M C A同盟(APAY)ユース参画とリーダーシップ開発委員会とシンガポールY M C A大学生グループ(University Students Group of the Y M C A of Singapore)の共催で、シンガポールY M C A100周年記念行事の一環として行われます。これまで、「アジア・太平洋・大学ユース・リージョナル・カンファレンス」として開催されていましたが、プログラム評価の過程で、プログラム名称の「排他性」が課題として挙がり、結果的に名称の変更をいたしました。したがって、今年から、「Y M C Aリージョナル・ユース・カンファレンス」と称することになります。このことによって、さまざまなユースのグループ(Uni-Y、College Y、Campus Y、Student-Y、ユース・クラブなど)たちが、さまざまな形態、プログラム、活動を共有し、学ぶことができる場としての役割を果たすことができるようになります。

現在、申込受付中です。参加ご希望の方は、所属Y M C Aを通して日本Y M C A同盟までお申し込みください。

## 環境保護ワークショップ(タイ・チェンマイ) 2012年5月21日~25日

アジア・太平洋Y M C A同盟は、Y M C Aの温室効果ガス排出量を削減するための行動変革、また環境正義

(ecological justice:環境負荷の社会的弱者への偏りを防ぐこと)への提言を目指して、Y M C Aにかかわる人々への研修に力を入れています。

各国Y M C Aより、この研修にスタッフやレイパーソンを派遣いただき、参加者の方には、今後それぞれのY M C Aでの環境保護活動においてリーダーシップを発揮して下さることを期待しています。2013年に、この研修のフォローアップ研修として各自のY M C Aで効果的な環境保護活動の実施を成功させた方対象の研修が開催されます。

5月21日~25日、タイ・チェンマイにて開催されました。

## 総主事デスクより

アジア・太平洋Y M C A同盟総主事 山田公平



APAYでは、2012年から15年までの4ヵ年計画を作りました。その中でも優先課題は“Youth Empowerment”(若者がその力を発揮するきっかけを作る働き)APAYのユース委員会は、そのために各国からのユースの代表(通称“Youth Reps”)を2名ずつ選出して、APAYのユース委員会と共に、目標達成に向けて今後4年間、具体的に動くことを提案しました。

“ユース・エンパワーメント”とは何か? その目的は具体的にどう置くのか? その目標の一つと言える事は、多くの若い人たちの声が、各国同盟や各地のY M C Aのなかで反映されるようになること。そして、若者たちが多く集まり、活動するプログラムがより多く作られること。さらに社会的な課題に対して、若者たちが目を向け、学び、実際に若者たちを中心にした活動が始められること。このようなY M C A作りを目指して、各国の“Youth Reps”が、ユース委員会と共に今後4年間かけて取り組み、各Y M C Aレベルでも各国同盟レベルでも、そして国際レベルでもユースがエンパワーされたと言える働きを作っていこうとし

ています。

そこで各国に呼びかけ、この“**Youth Reps**”としてふさわしい若者(スタッフでもボランティアでもよい)を2名推薦してもらい、彼らがユースの声をまとめて、YMCAの中で反映できるように支援する仕組みを作ってもらいたい。特に彼らが、同盟や各YMCAの理事会・常議員会などの決定機関やその元にある委員会活動に参加して意見を述べる機会を与え、育てる努力をしてもらいたい。

また、別の期待としては、若者が自ら活動を生み出すようなプログラムや研修を若者自らが作っていけるように支援してもらいたいということ。今年7月に行われるYMCAユース・カンファレンス(シンガポール国立大学)は、今後毎年行われますが、そこで若者がエンパワーされる活動やプログラムはどんな形で行われているのか、自分たちで情報を分かち合い、研究をしていこうというものです。今後は、積極的に、また意図的にこのような機会を作り、若者のリーダーシップを強め、若者がエンパワーされたと感じるようなプログラムをYMCAの中で実現してもらいたいものです。**日本でも行われている地球市民教育や APAY の School of Peace も、また学生 YMCA のような自主的な活動も若者をエンパワーする場だと感じています。日本ではユース・リーダー会がありますが、これもユース・エンパワーメントの代表的な活動です。こういった活動をさらに広げ、強化することがこれからの仕事になります。**

最後に、地球市民教育について、これもユースをエンパワーする手段として考えられたものです。自分達の周りの社会に目をむけ、問題点を見出し、その解決の一端を担おうとする若者を生み出すきっかけを地球市民教育は作り出しています。“**Youth Reps**”に期待するもう一つの働きは、この地球市民教育を各国で、各YMCAで積極的に作り出し、活動する若者のグループを生み出すことです。今年のスリランカで、8月7日 - 12日に行われる会は、この“**Youth Reps**”が地球市民教育をどのように各地で広げるか、どのようにしたら、ユースによる活動をもっと生み出すことになるかを学ぶ最初の一步になる大切な集まりになります。

今後4年間(2012-15)、“**Youth Reps**”は、2012年と2013年に続けてこのトレーニングを受け、その責任を果たした人たちは、みんな2014年7月に行われる世界YMCA大会(アメリカ・エステスパーク)にユースの代表として参加してもらいます。そして、この4年間の総括として、

2015年9月に行われる APAY 総会で、多くのエンパワーされたユースの声を APAY の次の4年の働きのために発表してもらいます。

APAY が作った今後4年間の計画は、各地のYMCAが総合的にユースの働きに目を向け、彼らのエンパワーメントを成功させることにあります。これは、この地域にあるYMCA運動に大きなインパクトをもたらすことになることと信じています。YMCAはまさに若者たちが多くのプログラムや活動を通してエンパワーされ、それを世界中で分かち合い、YMCAの担い手になっていくところ。その繰り返しで、多くの優秀なやる気のある若者を責任ある人材として社会に送り出すことになる、そんなYMCA運動を展開するきっかけになることを信じています。そのために、今、若者たちに惜しみない投資をしていきましょう。

## YMCAワールド・チャレンジ (YMCA World Challenge)2012

YMCAワールド・チャレンジの目的は、500万人を動員しYMCAのストーリーを語ることです。あなたのYMCAワールド・チャレンジの計画を始めて、活動を

世界中に広めてください。2012年、ともに歴史をつくりましょう!



## 世界YMCA同盟 常務委員会報告

アジア・太平洋YMCA同盟総主事 山田公平

世界YMCA同盟のスタッフと常務委員がナイロビにて一堂に会しました。アジア・太平洋地域からは、ヘレン・マキユワン氏(ニュージーランド・世界YMCA同盟財務理事)、ジョシュア・ヤウ・チュン・ワン氏(香港・APAY 会長)、パブー・ゴメス氏(バングラデシュ・APAY 副会長)、オリバー・ローク氏(シンガポール・APAY ユース委員)が参加しました。

## 2011年の達成事項と課題

### 1. ユース・エンパワーメント

ユース・エンパワーメントが、優先事項です。チェンジ・エージェント、チェンジ・モデルというアイデアが中心としてあげられています。ユースで構成された世界Y M C A同盟のタスク・チームが、現在のユースの課題についての調査を行ったところ、約100か国・地域のY M C Aから回答がありました。

2012年10月13日に予定されているワールド・チャレンジには、現時点で54か国のY M C Aが参加予定であり、国連教育科学文化機関(UNESCO)および国際バスケットボール連盟(FIBA)の後援を公式にいただいています。また、世界Y M C A同盟は国際連合とも密接に関わりながら活動しています。Y M C Aのユースの代表(世界Y M C A同盟スタッフ)のホムロ・ダントス(Romulo Dantas)氏が国連事務局の諮問機関の一員に選ばれました。

### 2. 運動強化

運動強化は世界同盟の主要な活動のひとつです。ガバナンス、リーダーシップ、持続可能性、プログラム開発、より効果的な広報活動が、この分野の重点事項です。

### 3. リソース・モビリゼーション

2010年の世界Y M C A大会の際に、インベスターズ・サークルの後、リソース・モビリゼーションが開始されました。目標の100万ドルに到達し、4つの地域でリソース・モビリゼーションの能力開発に懸命に取り組んでいます。ワイズメン、NAYDO、WUNとの戦略的な協力関係と、アジア・太平洋地域、アフリカ地域でのパートナーシップが築かれました。

### 4. グローバル・ブランディング戦略

イメージとインパクト(Image and Impact)委員会がグローバル・ブランディング戦略に取り組んでいます。2011年には、雑誌Y M C A Worldが2回発行されました。これからは、ウェブによるアップロードのみを通して発刊予定です。

### 5. 世界Y M C A同盟のガバナンス

世界同盟のガバナンス・モデル、また運営倫理・規約について議論されています。常務委員会自体について、また世界Y M C A同盟総主事の働きについても、定期的な評価を行います。

### 6. 地球市民

地球市民ダイアログが、2011年9月、第18回アジア・太平洋Y M C A大会後、ペナンで開催されました。今後、すべての地域で同様のプログラムが行われます。地球市民に関する書籍(パク・ジェチャン APAY 前会長・著 "Global Citizenship and Social Movements A Y M C A Perspective")がAPAYとの協働で発行されました。

### 7. 世界Y M C A同盟が課題と感じていること

- 1) JRM 基金からの利益収入が減っており、財政的な制約があること。
- 2) リソース・モビリゼーションのプロセスにおいて、世界中のY M C Aが見えにくいこと。
- 3) 世界規模の運動体としてのアイデンティティーがわかりにくいこと。

### 8. 計画と戦略

委員会にて議論された、ユース・エンパワーメントに関する新たな焦点のなかで、以下の3つの主要な点について世界Y M C A同盟が具体的に活動します。

- 1) 広報の常勤専門スタッフを3年間雇用すること。
- 2) 次回の世界Y M C A大会までに、地域同盟レベルで研修を受ける200人の「チェンジ・エージェント」を加盟Y M C Aから動員すること。
- 3) さまざまなY M C Aから、6名の経験の豊富なスタッフを2ヶ月ごとにローテーションできるように調整をすること。

### 9. 世界Y M C A大会準備委員会

第18回世界Y M C A大会が2014年6月29日から7月5日(予定)まで、アメリカ・コロラド州エステス・パークで

開催され、その後コース・フォーラムと総主事会議が5日から7日まで行われる予定です。テーマは、「コースをエンパワーするY M C A(仮訳)」です。参加者全1,500人のうち、約500人のコース参加者を見込んでいます。世界Y M C A大会後、2014年～2018年のフォロー・アップ・プランをコース・フォーラムにて各国総主事と策定する予定です。

NEW WAY 戦略計画を実施するために、各テーマに関するリソース・チームを結成しました。

### 世界Y M C A同盟ニュース(常務委員会)

世界Y M C A同盟総主事 ヨハン・ビルヘルム・エルトビック

3月31日～4月4日、世界Y M C A同盟常務委員会がケニア・ナイロビにて開催され、全80名が出席しました。会では、以下のような宣言が採択されました。

Y M C Aは最大限の可能性を発揮したい  
 私たちはそのためにより強い運動体になる  
 私たちはそのためにより多くの資源を引きつける  
 私たちはそのためにより多くの人に知ってもらう  
 私たちはそのためにより大きなインパクトを示す  
 私たちはそのために共通の焦点を持つ  
 世界に妥当な  
 私たちの使命に基づいた  
 私たちの熱望に価値を持つ  
 私たちの現在の働きに関連するそのために一体となって  
 私たちはコース・エンパワーメントを目指して  
 立ち上がることを選ぶ

世界中のY M C Aでは、現在のコース・エンパワーメントについて共通の重点事項やビジョンをより発展させようとしています。このような動きは、空間(space)、変革、影響力に焦点を当てたコース・エンパワーメントを担うチェンジ・モデルという共通の枠組みが中心となっています。世界では、すべての地域のY M C Aとコミュニティーがコース・エンパワーメントに取り組んでいます。NEW WAYの戦略が新しい見方を示すことによって、世界中のY M C Aがコース・エンパワーメントへの働きに関して、調和し、学び、共有するためのより多くの機会を持つことができるようになります。この協力的な働きによって、プログラム、スケール、インパクトをより強く、分かりやすくすることができるでしょう。ビジョンを確認することを通して、Y M C Aは NEW WAY に示した世界規模で現実的なコース・エンパワーメントの実行に重点を置くことができるのです。

各地域からのスタッフ等によって構成されたグローバル・スタッフ・チーム(GST)は、今後重要となるチェンジ・モデル、インパクトのある数字、実行可能な計画、ビジョンを周知する方法などについて話し合いました。皮切りとなるアクションは、200人のコースのチェンジ・エージェントです。各国・各地のY M C Aが、全チェンジ・エージェントをトレーニングし、育成し、一体とできるような人的・経済的な資源の強化について合意形成をしています。

2013年6月から8月には、地域レベルでの研修が行われ、そのひとつは200人のチェンジ・エージェントの参加が期待されるプラハ・コース・フェスティバルです。研修とアクションは2014年まで行われ、すべてのチェンジ・エージェントが参加する第18回世界Y M C A大会(2014年)では、このプロセスや計画の成果が示され、評価される機会となり、同時に次期の実施可否についても検討されます。全世界から計15人の指導者が起用され、90日以上にわたりチェンジ・エージェントの研修を行う予定です。チェンジ・エージェントの研修カリキュラムについては、リソース・グループによって今年6月までに策定されます。



### 地球市民育成トレーナーズ・トレーニング 2012年8月 スリランカ

アジア・太平洋Y M C A同盟は、4回目となる地球市民育成プロジェクト トレーナーズ・トレーニングを開催します。スリランカY M C A同盟の50周年記念行事とあわせ、8月7日～12日に開催されます。

この研修は、それぞれのY M C Aで地球市民育成に関わる若いスタッフやボランティアたちのためのものです。5日間のプログラムでは、地球市民となるために必要となる、適切な知識、スキル、行動のしかたを身につけるための学びが行われます。

### 第30回 アドバンスト・スタディーズ・プログラム

APAY主催 第30回アドバンスト・スタディーズ・プログラム(ASP)が2012年11月5日~30日に、香港・ウーカイシャ・ユース・ビルで実施されます。ASPは、各YMCAにおけるマネージャークラスのスタッフ対象で、今日の現状からのニーズと、各コミュニティーでのYMCAミッションの達成を目指すものです。

### 香港中華YMCA

#### Uni-Y、College Y 学生委員会結成



2012年3月30日、Uni-YとCollege Yの学生委員会の結成式(Joint Inauguration Ceremony)が開催されました。香港の大学、ドイツ・ニュルンベルクYMCA、香港地区ユイズメンズ国際協会、香港中華YMCAから200名以上が出席し、この歴史的な瞬間に立ち会いました。

香港中華YMCA会長のセシル・S.O・チャン博士と来賓の方々には、すべての学生委員に対し、香港中華YMCAの使命「仕えられるのではなく、仕えなさい」を挙げながら、コミュニティーのニーズに奉仕しながら、自分の役割を果たすよう、奨励がなされました。

式典のテーマは「オーケストラ」でした。Uni-YやCollege Yのひとりひとりのメンバーが楽器であり、それらがひとつにまとまったとき、オーケストラのようにハーモニーを生み出し、すばらしいメロディーを奏でることができる 協同的に献身的な社会への奉仕 というメッセージが与えられました。

チャン博士はまた、ユースのネットワークをより発展させて、今後より広いコミュニティーや世界に奉仕するためには、近い将来、香港内のUni-YやCollege Yの調整機能を香港中華YMCAに設立する必要がある、と述べられました。

### 周年を迎えるYMCA

#### シンガポール、スリランカ

#### 110周年を迎えるシンガポールYMCA

シンガポールYMCAは2012年7月20日に感謝会を行います。シンガポールYMCAとAPAY共催のYMCAユース・カンファレンスは7月17日~22日に開催されま



#### 50周年を迎えるスリランカYMCA同盟

スリランカYMCA同盟がゴールデン・アニバーサリーの50周年を迎えます。さまざまなプログラムが8月7日~14日に予定されています。この記念行事とあわせて、地球市民育成トレーナーズ・トレーニングが8月7日~12日に開催されます。



両YMCAにあたたかい祝福と力をお贈りします!

#### 発行元

#### アジア・太平洋YMCA同盟

Asia and Pacific Alliance of YMCAs

23 Waterloo Road, 6th floor, Kowloon, Hong Kong

tel. 852-2780 8347, 2770 3168, 2783 3058; fax 852- 2385 4692

e-mail: office@asiapacificymca.org